

TOPICS

輝かしい部活動の軌跡

●カヌー部 オリンピック選手の松下桃太郎さんを輩出した伝統ある部活の一つ。毎年インターハイ出場を果たしています。



●会計部 日商簿記1級合格、全経簿記上級合格を果たした部員を持つ実績のある部活です。

そのほか、野球や陸上、ハンドボールなどの運動部を始め、情報処理やワープロ、珠算・電卓など商業ならではの部活もあります。

TOPICS

小松商業は就職に強い! 進学にも強い!

進路状況

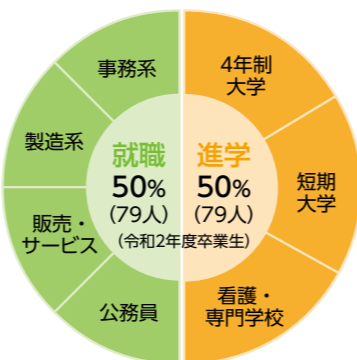
令和2年度の地元就職率は99%。商業の専門性を活かした進学も出来ます。

主な取得資格

簿記検定、会計実務検定、日商簿記検定、情報処理検定、ITパスポート、商業経済検定など

主な進学先

金沢大学、富山大学、公立小松大学、同志社大学、中央大学、日本大学、名城大学など



100年の伝統 さらに翔ばたけ未来へ!

小松商業高校

問い合わせ

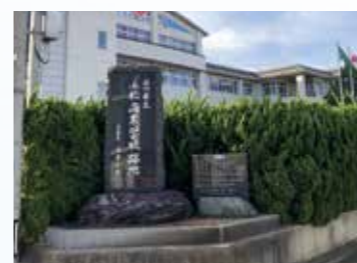
広報秘書課 ☎24・8016

南加賀地域の 商工業の歴史と共に

令和2年に創立100周年を迎えた小松商業高校。その歴史は大正10年4月にさかのぼります。当時、自由経済の厳しい競争と近代化の嵐の中、生き残ることが出来る企業家や従業員育成を求め南加賀産業界の強い要望にこたえて小松町立商業学校が誕生しました。公会堂を仮校舎としてのスタートでした。年月を重ね昭和3年に新校舎が完成、同時に町立から県立へと移管し、県立小松商業学校として独立校舎を持つことが出来ました。

昭和22年3月に教育基本法・学校教育法が公布され、現在の6・3・3・4制の教育制度が誕生しました。この制度改革による、学校の統合と分離の時期がしばらく続きます。昭和23年に小松工業高校と統合して小松実業高校に、翌24年には更に統合が行われ総合制小松高校となります。そして、昭和27年には普通課程と実業課程が分離して再び小松実業高校となりました。

昭和30年代に入り、日本経済は空前の好況期を迎えます。高度成長は生活を豊かにし、文化・教育にやる意欲や期待も増加させました。30年代半ばには進学率の上昇や、ベビーブーム世代の高校進学を控え、高校の増設が課題として浮上する中、小松実業高校から分離・独立させて、今の県立小松商業高校が誕生しました。



▲芦城中学校前の旧小松商業学校跡地に建てられている記念碑

100年の伝統と共にさらに 翔ばたけ! 未来を拓く学校へ

昨年、創立100周年を迎えたもののコロナ禍の影響で記念式典を今年に延期。去る10月8日に無事行われました。

地域の商業専門学校としての役割が期待されている中、高度な資格の取得・部活動の奨励・あいさつマナーの励行を三本柱として、グローバル社会に対応した人づくりを進めています。そして、地元産業界に貢献できる人材を育成し、進学では、専門性を生かした進学の開拓を進めています。

「未来を拓く商業高校 創立100周年に輝く」を合言葉に、地元からの信頼を更に得られる学校づくりを目指して新たな100年を歩み始めます。



▲創立100周年記念式典の様子

お知らせ

記念誌「百年史」の 販売について

商業高校の歩みをまとめた記念誌を発売します。

価格 1冊8千円

発刊予定 令和4年4月

購入方法 小松商業高校同窓会事務局に電話(☎47・3221)か、QRコードから。



地元企業と連携した商品開発

昨年、小松市の洋菓子店マルフジと連携し、創立100周年を記念した小商アニバーサリーブッセを考案しました。地産地消にこだわり、五郎島金時いもを使用したスイートポテト味と、能美市特産の国造ゆづを使用しただけ味の2種類のパタークリームを開発しました。

ふるさと小松検定

今では恒例となったふるさと小松検定。この検定の準備や実施を通して、ふるさとへの理解を深め、小松の魅力を知り、ふるさと小松に誇りと自信を持ってもらうことを目的に活動をしています。これまでに16回実施し、受験者は市内はもとより、県内外合わせて約1万4千人を超えています。この事業を通して「まちおこし」や「まちづくりに貢献しています」。

今年は12月19日(日)に17回目となる、ふるさと小松検定を実施します(17ページ参照)。

地域連携や観光PRなど 特色ある授業を行っています

SDGs活動

イオンモール新小松で子供たちを対象としたSDGs講座の講師を生徒が務めました。学んだ知識を地域に還元する活動を通して、学習内容の理解と共に地域社会貢献の一翼を担っています。

コミュニティとまちづくり連携

小松駅前の活性化プランを考える授業を選択した生徒は、龍助町と連携して、高校生ならではのアイデアで地域活性化に協力しています。

龍助町の夏祭りに合わせて、水引アクセス作りや写真コンテストを開催しました。集めた写真や動画を編集して、プロジェクトションマップも行いました。この取り組みを通して、地域住民が町の活性化に真剣に取り組んでいることや、町の歴史や伝統に誇りを持っていることなどを実際に聞き取ることその思いを理解することができました。



▲地元企業と連携して開発した洋菓子



▲問題の作成から検定の実施まですべて生徒が行っているふるさと小松検定



▲龍助町と連携したまちの活性化事業

小松商業高校 ホームページ

